

薬学部 薬学科

入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

青森大学薬学部は、地域の薬剤師を養成することを目的とした6年制の学部です。従って、薬剤師として必要な資質を得るために必要な知識、技能及び倫理観を身に付けさせることが使命です。その使命を理解し、必要となる基礎力を有し、薬学を学ぶ強い意志を持つ学生の入学を求めます。入学者の受入れは、下記の方針に基づいて適正に行います。入学者の選考は、様々な個性、能力等を有する人物を受け入れることができるよう、多様な選抜方法を用意して行います。

【薬学部が求める学生像】 次の①～⑤のような学生を求めています (以下「AP①～⑤」とする)

- ① 化学、数学、語学を中心に高等学校の教育課程を幅広く修得している人
- ② 身近な問題について、知識や情報を基にして、筋道を立てて考え、その結果を説明することができる人
- ③ 自ら学ぼうとする意志を持っている人
- ④ 人への思いやりを持ち、多様な人々とコミュニケーションを取ろうとする態度が身に付いている人
- ⑤ 薬の専門家として、他者と協働して、地域社会に役立ちたいという志を持っている人

【入学志願者に求める学習の取組】

- ・薬剤師として必要な基礎的な科学力を培うために、理系科目のみならず語学など文系科目全般を修得し、総合的な学力を身に付けてください。
- ・様々な問題を発見する力や関連する情報を収集、分析する力、これらを用いて、問題を解決する力を養うために、身近な問題や社会の動きについて常に関心を持ち、考えることで、自ら継続して学ぶ意志を磨いてください。
- ・他者と協働して地域社会に役立つために、ボランティアや課外活動を通して、思いやりやコミュニケーションを身に付けてください。

【入学者選抜の基本方針】

1. 入学者選抜方法

(1) 総合型選抜

選抜方法:「調査書」「大学入学志望理由・自己推薦書」「面接(口頭試験含む)」「プレゼンテーション」「小論文」

自ら継続して学習する意欲、薬学に対する関心、興味、コミュニケーション能力など、薬の専門家として求められる能力、資質、適性を評価するとともに、高等学校の教育課程の習熟度を評価します。また、身近な問題に対し、自分の考えを論理的に説明し、発表する力も評価し、これらを総合的に評価して選抜します。

入学者選抜区分:総合型選抜、社会人特別選抜、編入学選抜

(2) 学校推薦型選抜

選抜方法:「推薦書」「調査書」「大学入学志望理由・自己推薦書」「面接(口頭試験含む)」「小論文」

自ら継続して学習する意欲、薬学に対する関心、興味、コミュニケーション能力など、薬の専門家として求められる能力、資質、適性を評価するとともに、高等学校の教育課程の習熟度を評価します。また、身近な問題に対し、自分の考えを論理的に説明する力も評価し、これらを総合的に評価して選抜します。

入学者選抜区分:公募・指定校学校推薦型選抜

(3) 一般選抜

選抜方法:「調査書」「大学入学志望理由・自己推薦書」「学力検査」

自ら継続して学習する意欲、薬学に対する関心、興味など、薬の専門家として求められる能力、資質、適性を評価するとともに、高等学校の教育課程の習熟度を評価し、総合的に評価して選抜します。

入学者選抜区分:一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜

2. 選抜方法の内容と評価要素

調査書

選抜方法:「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」

1. 知識・技能【A P ①】

「各教科・科目等の学習の記録」「各教科の学習成績の状況」「学習成績概評」「出席の記録」

2. 思考力・判断力・表現力【A P ②】

「総合的な学習の時間の内容・評価」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」「備考」

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度【A P ③④⑤】

「総合的な学習の時間の内容・評価」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」「備考」

「備考」については「本学アドミッション・ポリシーに関連した学習成果」の記載を求めます。

客観的な視点から、高等学校における教育課程の「習熟度」、「授業態度」、校内、校外での活動による「行動力」「地域社会への貢献度」を評価します。

大学入学志望理由・自己推薦書

選抜方法:「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」

志望理由やこれまでの経験による記述により、薬学に対する理解や考え方、興味、将来の夢などの「薬学に対する意欲」および「自主的に継続して学ぶ力」を評価します。

推薦書

選抜方法:「学校推薦型選抜」

第三者視点から、高等学校における教育課程の「習熟度」「授業態度」、校内、校外での活動による「行動力」「地域社会への貢献度」を評価します。

面接(口頭試験含む)

選抜方法:「総合型選抜」「学校推薦型選抜」

「自主的に継続して学ぶ力」「コミュニケーション能力」、薬学に対する理解や考え方、興味、将来の夢などの「薬学に対する意欲」「口頭での質問に対する応答する力」を評価します。

プレゼンテーション

選抜方法:「総合型選抜」

身近な問題について、「自ら考える力」「理論的に説明する力」「関連する質問に応答する力」を評価します。

小論文

選抜方法:「総合型選抜」「学校推薦型選抜」

身近な問題について、「自ら考える力」「理論的に説明する力」を評価します。

学力検査

選抜方法:「一般選抜」

一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜共に、高等学校の教育課程修了レベルの「化学、数学、語学」に対する「知識」や「思考力」を評価します。

【入学者選抜区分ごとの評価の比重】

入学者選抜区分	学力の3要素		
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性
総合型選抜	○	◎	○
学校推薦型選抜	○	○	◎
一般選抜	◎	△	○

重視する度合いが高い順に「◎」「○」「△」となります。

学力の3要素の評価の詳細については、「**出願書類等の活用**」をご覧ください。